

## 地域コミュニティ交通の支援について

### 支援内容



#### 1. 専門家(コンサルタント)派遣

ー地域コミュニティ交通の検討と地域組織の運営を支援ー



#### 2. アンケート調査

ー需要把握のためのアンケート調査にかかる費用を市が負担ー

限度額 100万円/回



#### 3. 試験運行支援

ー試験運行にかかる経費から運賃収入を差し引いた赤字分を市が補填ー

限度額	運行形態	運行期間	
		3ヶ月間	6ヶ月間
100万円	タクシー車両 (1台)	330万円	260万円
	タクシー車両 (2台)	450万円	420万円
	バス車両 (1台)	530万円	560万円
	バス車両 (2台)	860万円	1,020万円



#### 4. 本格運行支援

ー本格運行に必要な運行経費や車両費の一部を市が支援ー

##### ① 運行経費支援

補助額 補助対象経費から運賃収入等を差し引いた額と運行形態に応じた補助限度額のいずれか少ない額

限度額	乗って支える目標 (回/日)	適正な運行形態		補助限度額
		車両	車両数	
300万円	35~100	タクシー車両	1台	300万円
	65~200	タクシー車両	2台	600万円
	105~210	バス車両	1台	650万円

##### ② 車両支援

限度額 1,200万円(補助率3/5)



#### 5. 立ち上げ支援

ー本格運行に伴い運行事業者が必要となる経費を補助ー



#### 6. 地域組織の自立支援

ー地域組織の自立のために必要となる経費を補助(本格運行後1年限り)ー

限度額 35万円(全額補助)

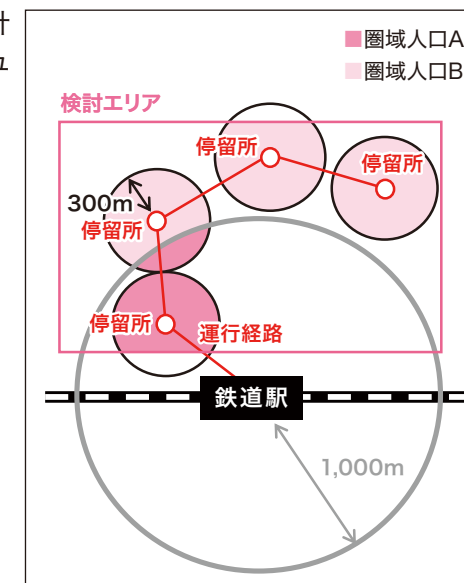
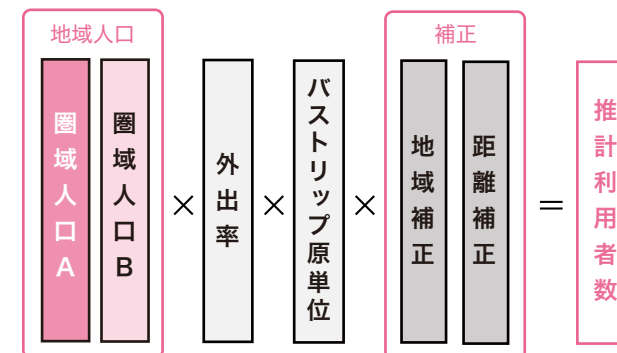
- 対象経費
- 会議室等の借上げ料
  - 広報紙、パンフレット等の作成及び印刷並びに配布に要する費用
  - 地域コミュニティ交通の利用促進に要する費用

## 「乗って支える目標」の設定方法

地域の住民数と地形条件などの地域特性から利用者数を推計し、アンケート調査の結果に基づいて補正することで、地域コミュニティ交通を運行するための「乗って支える目標」を設定します。

### 利用者数の推計

算出式

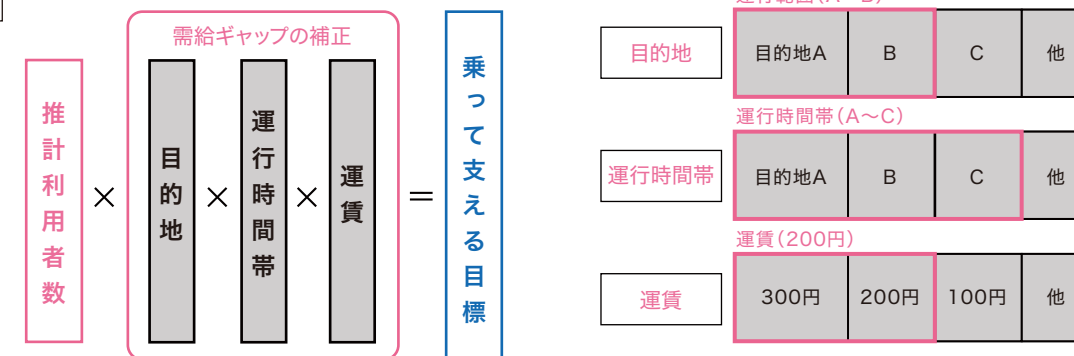


圏域人口: 検討エリアにおいて、地域コミュニティ交通が運行するサービス圏域(停留所300m圏域)に居住する人口で、鉄道駅から1,000m圏域に居住する人口(圏域人口A)と、鉄道駅から1,000m圏域外に居住する人口(圏域人口B)  
バストリップ原単位: 神戸市における1人1日あたりの平均バストリップ数(平成22年度京阪神都市圏PT調査より)

### アンケート調査に基づく補正

地域コミュニティ交通の運行内容とアンケート調査から得られる利用意向に生じる需給ギャップ(目的地、運行時間帯、運賃)から、推計利用者数を補正する。

算出式



## 「乗って支える目標」と適正な運行形態の目安

「乗って支える目標」	運行形態	運賃	収支
50人/日		300円~ 200円程度	運行経費 運賃収入
100人/日		300円~ 200円程度	運行経費 運賃収入
200人/日		200円程度	運行経費 運賃収入